

前歯がガタガタの場合（叢生2・そうせい）

歯の大きさに比べて顎が小さい場合や、永久歯が生える方向に問題がある場合に起こります。基本的には八重歯の場合と同じですが、適切な時期に治療することにより不正咬合の程度がひどくならない場合もあります。1～2本の噛み合わせが逆になり顎が左右に動きづらくなる場合や、下顎をずらさないと噛めない場合は積極的に前歯だけがはえかわった時期に治療を開始します。程度がひどい場合には将来マルチブラケットシステムで歯並びを整える必要がある場合もあります。矯正治療で使用する装置には色々な種類があります。私の診療所で使用している装置は以前のものとは比べかなり目立たないようになっており、少し離れるとほとんど気づきません。少しでも矯正装置を入れることへの負担が軽減されるように心がけています。

実際の治療例



初診時



初診時



治療開始



3ヶ月後



6ヶ月後



9ヶ月後

治療費概算

前歯がガタガタで治療に9ヶ月掛かった場合（将来、本格矯正が必要です。）

初診、相談料 無料

診査診断料 11,000円

施術基本料 176,000円（5回までの分割が可能です。）

処置料 4,500円×8回=36,000円

動的処置中：歯を動かしている最中は3～4週ごと通院、6回

保定期間中：3ヶ月の間に2回程度通院

合計：223,000円

※将来、本格矯正が必要になった場合は診査診断料、施術基本料は本格矯正の料金より差し引き、差額となります。ただし処置料は変更となります。



TEL 095(857)8211

日本小児歯科学会認定 小児歯科専門医 行成 哲弘